

# 支援だより

平成26年度 第5号  
平成26年9月24日  
神奈川県立中原養護学校  
支援連携グループ



2学期が始まりました。児童・生徒たちも新学期に慣れてきたようで、毎日元気な姿を見せてくれます。さて今月の支援だよりの内容は以下の通りです。

1. コラム  
見る力について～作業療法士・笠原先生～  
進路支援係より～進路支援係・熊谷先生～
2. イベント紹介

## 1. コラム

作業療法士(OT)  
笠原先生のコラムです

### ～見る力について～

前は視機能のなかの視力についてお話しましたが、今回は**目の動き**についてお伝えしたいと思います。

眼球運動には、対象物に対して両眼の視線をそろって動かしたり、両眼をよせたり、離したりするなどいくつかの動かし方があります。

対象物を的確にとらえるためには、眼球運動がスムーズにできなければなりません。

目で物を追う動き（追視）は、回転寿司で奥から流れてくるマグロの握りが、自分の目の前に来るまで目で追いかけるような動きです。この動きがよくなないと、対象物から視線が外れやすくなります。

生活面では、読みとばしや手先の不器用さなどの問題が生じることがあります。



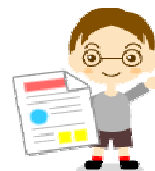
視点を切りかえる動き（サックード）は、もぐらたたきゲームをしているときに飛び出てきたモグラを素早く目で捉えるような動きです。球技でボールや人の動きをとらえる時などにも働いています。この働きが機能していないと、何を見ていたが分からなくなり、混乱しがちになります。



物を立体的に見るためには、2つの眼でほぼ同じ情報を取りこむ必要があります。そのためには両眼のチームワークと調節力というふたつの機能が欠かせません。

両眼のチームワークは、両眼をよせたり離したりする動きです。両眼の動きが調整できていれば、物が二重にならず、ひとつに見えます。

調節力は、眼の水晶体が厚みを変えてピント合わせを自動的に行っています。これらが機能することで、物を立体的に、鮮明にとらえることができるのです。



## ～進路支援係より～

今月は、  
進路支援・熊谷先生の  
コラムです。

まずはお知らせです。

来年1月に障害者雇用を積極的に行っている企業の方々との懇談が持たれます。

『企業と語ろう in かわさき』 期日は1月10日（土）午後 場所は川崎市中央支援学校  
漠然と就労といっても、なかなか企業の方々のお話を聞かないと分からないものです。直接、懇談できる減多にないチャンス。ぜひご予約ください！

企業も1000社あれば、1000通り。多国籍企業から、街のお蕎麦屋さんまで、それぞれ立派に企業。「企業ってこんなもの」と決めてかからず、色々な方とお話の機会を作るのは大切です。

この夏もあれやこれやと気になるニュースもありました。

その1 NHKのニュースに出ていたのは、一部「就労継続A型事業所」の問題。1日に1時間とか2時間しか勤務がない事業所の話です。働いている人には1時間分の給与しか払わないのに、補助金はガッポリといただくという寸法。まあ、簡単に思いつくビジネスですが、「よくやるよな」と呆れてしまいました。しっかり運営されているA型事業所まで、疑りの眼差しで見られたら迷惑な話。

その2 最低賃金が上がるというニュース。非正規雇用が増え、実質賃金も下がりぎみとなると最低賃金には関心が持たれます。特に知的障害者の雇用は最低賃金に合わせている場合が多いので、影響大。新しい額は、神奈川県が887円、東京都が888円。何故かいつも1円違いです。

よく引合いとして語られるのが、生活保護との逆転現象。しかし、どちらにしても「健康で文化的な最低限度の生活」と憲法に保証されていることが根拠でしょうから、ただ単に「高いだ、安いだ」と言うのはいかがなものでしょうか。

その3 新製品の装着用ロボットが50万円台というニュース。持ち上げる際に背中の中のモーターが駆動して、約15キロ負担が軽減。腰の痛みを抑制できるという仕組みです。まずは農業、物流でということのようですが、介護の現場にも入ってくるのでしょうか。

ニュースを見ていると「これは生徒に関係あるかな」と思うことも多いです。社会の動きはダイレクトに生徒や卒業生に影響があるので、要チェックです。

オマケ テレビ眺めていたら壇蜜さんが出ていて、そのままダラダラと観てしまいました。今や大変にご活躍ですが、凹んだ人生が長かったとのこと。ネックは「自分のやりたいことをやりなさい」という呪縛。それから解放されて楽になったと……。進路指導の仕方も考えさせられます。

お知らせ 横浜市の『障害福祉のあんない』と川崎市の『ふれあい・障害福祉の案内』の2014年版ができました。まだ、お手元にない方はぜひご入手ください。

最後のもう一度、『企業と語ろう in かわさき』1月10日（土）午後 川崎市中央支援学校です！

## 2. イベント紹介

### ■ 第41回国際福祉機器展H.C.R.2014

高齢者・障害者の自立生活を支え、社会参加を促進するために、福祉機器の果たす役割はますます重要なものになっている。H.C.R.2014では車いすや介護ベット、食品、衣類、福祉車両、住宅改修用機材など、さまざまな福祉機器・用品とその関連情報を見ることができる。

欧州各国やわが国に共通の課題をテーマとした国際シンポジウムやH.C.R.セミナーが連日開催され、介護保健福祉に関わる最新の情報を得ることができる。また、親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器の総合的展示のほか、福祉機器の利用や療育などについての相談コーナーなどを設けた「子ども広場」も特設されている。詳細は以下の通り。

- 日時 10月1日（水）～3日（金） 午前10時～午後5時
- 場所 東京国際展示場「東京ビックサイト」

### ☆ H.C.R.2014/障害児のための「子ども広場」

#### 1. 福祉機器展示コーナー 終日展示。展示製品の利用時間は以下の通り。

	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
10月1日（水）	○いす・カーシート ○食事用具・食器/衣類・靴	○学習機器/コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器
10月2日（木）	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食事用具・食器/衣類・靴	○学習機器/コミュニケーション機器
10月3日（金）	○学習機器/コミュニケーション機器	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○食事用具・食器/衣類・靴

#### 2. 相談コーナー 下記時間帯に、各種相談可。

10月1日（水）	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
10月2日（木）	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
10月3日（金）	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00

※療育相談と福祉機器相談について、それぞれ2名の担当が配属される。

#### 3. ひとやすみコーナー

- 保育士が常駐している。
- 子どもたちがおもちゃを使って遊べる広場がある。
- 保護者（親）が子育てについて相談できる。

## ■ 自立生活セミナーin 港北2014

障害のある方の自立生活についてみんなで一緒に考え、学ぶセミナー。今年度のテーマは「お金を得ること・使うこと」。テーマをもとに参加寸劇も行う。

### 全3回シリーズ

- 日時 第1回：平成26年 9月27日（土） 10時～12時  
第2回： 11月22日（土） 10時～12時  
第3回：平成27年 2月21日（土） 14時～16時
- 場所 港北区福祉保健活動拠点 3階 多目的研修室
- 参加費 無料
- 対象者 18歳以上の障害のある方・ご家族など
- 定員 20名程度（先着順）
- 申し込み方法 電話もしくはFAX
- お問い合わせ先 港北区社会福祉協議会 担当：永野、小野  
〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町13-1 吉田ビル 206  
TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

## ■おまつりの紹介

### 1. 聖風苑まつり

聖風苑が日ごろの感謝の気持ちを込めて行うお祭り。バザー、模擬店、古き良き時代のサイレント映画の上映会、作品展覧会、スチールパン演奏会などが行われる。

- 日時 平成26年10月5日（日） 10:30～14:30
- 場所 ノーマ・ヴィラージュ聖風苑  
川崎市池上新町3-1-8  
TEL 044-288-5401  
※駐車場がないため、公共交通機関でお越しください。

### 2. しんよこはま地活の秋まつり2014

しんよこはま地域活動ホームが開催する秋のお祭り。移動動物園（亀、犬、フェレット）や和太鼓演奏、地域の作業所販売などが行われる。

- 日時 平成26年10月18日（土） 10:00～14:30
- 場所 しんよこはま地域活動ホーム（港北スポーツセンター隣、大豆戸小学校前）  
横浜市港北区大大豆戸町518-6  
TEL 045-531-4400

支援だよりについてのご意見、ご要望は

e-mail:nakahara01-sh@pen-kanagawa.edp.jp までどうぞ！